

東京都新宿区北新宿1-8-16
 東京土建一般労働組合
 電話03 (5332) 3971 (代表)
 FAX03 (5332) 3972
 発行人・編集人
 三木 勉

印刷部数11万3200部
 (購読料は組合費のなかに含まれています)
 (年間購読料 千八百円)
 定価 五十円



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

住宅デーの準備に協力を
 6月3日・10日を中心にした第41回住宅デーを開催します。組合は、住宅デーを組織づくり、分業づくりの取り組みと位置づけています。大衆的イベントとして成功できるように、準備にご協力ください。

対話を広げて仲間づくり

春の拡大月間 前半戦



元気よく、11人の拡大目標を達成すると決意表明をした幸田分会の仲間

葛飾 晦日には笑顔の月間に 出陣式で早くも42人の成果

「年間1%実増の頂を目指し、仲間の力を結集させ、春の拡大月間のスローガンです。4月18日、葛飾支部の春の拡大月間のスローガンです。4月18日、葛飾支部で拡大出陣式を行いました。16分会から1000人を超える仲間が参加し、氣勢をあげました。

冒頭、ビデオ「2017年東京土建のあゆみ」を観賞した後、組織担当の山屋英書記の司会で出陣式はスタート。阿久津正委員長が「本日は予想以上に多くの仲間が参加していただきました。いよいよ拡大月間が始まります。月間が楽しくなるか、苦しくなるかは皆さん次第。来月の晦日には笑顔で打ち上げをしましょう」とあいさつしました。本部役員(中村隆幸、齋藤誠、

日野 対象者探しがカギ 昼間行動を強める



昼間訪問セットを準備する日野南分会の仲間(右端が渡邊分会長)

春の拡大月間、第2次統一行動初日の4月18日、日野支部は目標103人に対して成果18人。未成果分会も2つあり、まだ序盤ですが厳しい状況にあります。この日は支部会館で労働保険の年度更新受付2日目。まだ成果のない日野中央分会の谷合新分会長が、29歳の若い

「建設労働者の就労環境を抜本的に転換する契機として、オリンピック開会式における建設従事者の入場行進の実現をすめる」ことを先の第71回定期大会で決議しました。品川支部では東京建設、南建、建設ユニオンとともに区議会各会派に働きかけ、都内初となる品川区議会での請願採択を実現しました。

五輪での入場行進採択 品川が自民党幹部区議と懇談

4月18日、品川区議会開会中の多忙な中、趣旨採択に大きな力を発揮していただいた自民党の渡部茂幹事長、石田秀男政調会長を、野村和好品川支部委員長、小島毅品川支部書記、松本久人本部副委員長、中村修一本部専従常任中執で訪問し、区議会応接室で懇談しました。「区議会として意見書を出すという都やオリパラ競技大会組織委員会も身構えてしまおう。区議会のオリパラ推進特別委員会を通じて要望を出すのは恐らく今年が最後。要望事項の一つに、開会式での入場行進をしっかりと入れたらいい」と石田政調会長から説明がありました。松本副委員長は「昨年4月から新国立競技場現場で労働環境改善を求める宣伝行動を続け、合わせて、五輪という国民の注目が集まる機会に、建設業のイメージアップを図ろうと、このような運動を組

合で取り組むことにしました。全都で初の趣旨採択を品川で実現していただき、ありがとうございます」と感謝の気持ちを述べました。「昨年10月の安全衛生週間の際に区内の公共工事発注現場を訪問し、そこでオリパラでの入場行進の話を所長さんなどになると、どこでも賛同されました。大崎再開発現場では満面の笑みで『ぜひお願いします』とも言われました」と地元現場での好反応を野村委員長が紹介しました。和やかに懇談し、ロンドン五輪の際の建設従事者による入場行進が写ったパネルを囲んで、記念撮影をしました。

3月31日、小金井市内で「安倍9条改憲NO!3000万人署名」への協力をお願いして、マンションの住人を訪問した3人の市民が、小金井署により「住居侵入容疑」で連行されるという事件が起きた。私たちの組合でもこの署名推進のために、集合住宅などを訪問することはごく普通のことだ。不安に思った仲間もいるのではないかと。この事件の発生を知った時、2004年に起きた立川防衛庁官舎イラク反戦ビル入札事件を思い起こした。あの事件では「立川自衛隊監視フロント」の3人のメンバーが、防衛庁官舎に「自衛隊のイラク派兵反対!」というビラを配布し、「住居侵入容疑」で逮捕、起訴された。一番で無罪判決を勝ち取ったが、検察が控訴、控訴審で逆転有罪、上告したが最高裁で棄却され有罪が確定した。その一審判決では、被告人のビラ配布行為は憲法21条1項の保障する政治的表現活動と認め、官舎に立ち入った行為に刑事罰に値するほどの違法性は認められないとした。小金井市の事件でも署名集めに訪問することが住居侵入にあたるのではないか。政権を批判する表現活動を行なう団体を狙った弾圧だろう。改憲NOの運動に対する、国家権力の陰湿な圧力を断固として跳ね返して行こう。